



3月の(3/27)
ご当地メニューは栃木県!

3.1 行事食ひなまつり

ちらし寿司・お吸い物・
蒸し物

(海老と貝柱の若菜蒸し・チキン二色巻・花人参)

菜の花の辛子和え・ケーキ

来月のお食事もご期待ください!



手作りおやつ
おはぎ



第三者評価の受審について

当施設は旧施設である若草ホームから新築移転し昨年7月で3年が経過したことを機会に、施設の体制やケアの内容などについて第三者の目で見てもらい、自分たちでは気が付いていない課題や、自慢できる点を指摘していただき、より良いケアにつなげて行きたいと考え、昨年第三者評価を受審いたしました。

今回評価をしていただいた評価機関は「神奈川県社会福祉士会」です。専門的な研修を受けた調査員がガイドライン等に沿って評価を担当します。

第三者評価は、大きく3つの構成となっています。第一に64の評価項目に対する自己評価（10月提出）、第二に利用者・家族アンケート及び職員アンケート（9月実施）、そして調査員3名による2日間の訪問調査（11月実施）です。訪問調査では一部の利用者さんのヒアリングと数名の職員のヒアリングも行われました。

自己評価ではそれぞれの評価項目に設けられた評価の着眼点を理解した上で自分たちのみで評価を行いました。評価の着眼点のほとんどが、PDCAサイクル（Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（確認）→ Act（改善）の4段階を繰り返して業務を継続的に改善する手法）による運営がなされているかを問うものです。自己評価を通じて当施設は、チェック・確認（C）とアクション・改善（A）がまだまだ弱いと気付かされた次第です。

利用者・家族アンケートには多くの皆様に協力をいただきました。昨年はまだコロナ感染症の関係で居室面会ができず、回答できない質問が多々ありご迷惑をお掛けいたしました。忌憚のない自由意見も多くいただき、改めて感謝申し上げます。

訪問調査はディスカッション形式で行われ、幹部職員と自己評価に関わった職員が出席し、様々な質問に対し当施設の状況、取組や考え方などを、資料をもとに説明しました。ほとんどの職員が初めての経験でしたが、緊張の中でもしっかりと説明できたと思っております。

本年3月、評価機関より評価結果及びアンケート集計結果が届きました。総評について概略を報告いたします。



特長については、○施設全体の明るい雰囲気と職員の笑顔がある。 ○活発な委員会活動で入居者へのサービス改善につなげている。 ○適切なサービスが実施されているかを、利用者の視点で職員が自己評価を実施し、サービス改善課題の把握に努めている。 ○職員皆で考え行動することを施設運営の基本としている。 この点が評価されました。

今後期待される点として、○利用者の楽しみとなるレクリエーション等の実施の工夫が望まれる。 ○ユニットケアの現場の職員の声を施設全体で共有する取組みの工夫が期待される。 と指摘を受けました。

施設としましては、評価結果及びアンケート結果を真摯に受け止め、職員で共有し、良いところは伸ばし、改善点は改め、コミュニケーションのとれた風通しの良い組織を構築して、利用者様・地域の皆様・職員に信頼される施設を目指してまいります。

評価結果は、5月中を目途に当施設のホームページに公開いたします。

また、施設内には書面を一冊にファイルしたものを設置しましたので自由にご覧いただけます。



令和6年4月 施設長 清水 雅

わかくさの理念「ともに あなたらしさの虹をえがく」

～ 基本方針 ～

・良質なサービスを提供します ・向上心を持った職員が接します ・地域との連携を図ります ・笑顔が絶えない施設をつくります

